

高齢者交通安全推進事業

直轄事業

実施目的

本市の交通事故状況^(※1)に鑑み、高齢者が交通事故の加害者にも被害者にもならないようにするために、加齢に伴って生じる身体機能の変化が行動に及ぼす影響等を理解していただくとともに、自ら納得して安全な交通行動を実践することができるよう、各種教育機材を積極的に活用した参加・体験・実践型の交通安全教育等を推進する。

実施場所

市内

対象者

高齢者及びその家族等

開始年度

平成10年

予算

407 千円

実施内容

(※1) 令和7年中の交通事故死者全体に占める高齢者の割合が約7割と高く、その大半が75歳以上であった。また、交通事故件数は概ね減少傾向にあるものの、全交通事故発生件数に占める高齢者の割合は依然として高い。

ア 事業内容

- ・動体視力計を利用した診断
- ・講話やイベントの機会を活用した交通安全指導や交通安全意識の高揚

イ 実施方法

- ・老人クラブ連合会やシルバー人材センターなどからの開催要望に基づき、職員が出向いて、加齢に伴って生じる身体機能の変化が行動に及ぼす影響等の理解を深め、自ら納得して安全な行動を実践することができるよう、各種教育機材を活用した参加・体験型の交通安全教育を行う。
- ・スポーツセンター等の高齢者の利用が多い施設等において、交通安全資機材の展示や啓発チラシ、啓発物品の配布により交通安全意識の高揚を図る。

URL

交通安全教室開催

直轄事業

実施目的

市民の交通安全意識を向上させ、交通マナーを身に付ける。

実施場所 市内

対象者 市民一般

開始年度 予算 1909 千円

実施内容

ア 交通安全移動教室車による交通安全教室の開催

本市会計年度任用職員（交通教育専門員、交通教育指導員）が、保育所、幼稚園、小学校等に赴き、参加者に応じた、段階的かつ体系的な交通安全指導を行う。令和8年度からは、小学校1年生を対象としたプログラムに勝手踏切の危険性を伝える内容を新たに盛り込んだ。

イ 新入学前児童を対象とした交通安全教室の開催

新入学前の児童を対象に、大芝公園交通ランド内の信号機や横断歩道、踏切等を利用し、実際の交通場面を想定した歩行教育を行う。

URL <https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/1035962/1021165/1025674/1018827.html>

交通安全思想の普及啓発の推進

直轄事業

実施目的

市民一人一人が交通安全の確保を自らの課題として捉えるよう意識の改革を促す。

実施場所

市内

対象者

市民一般

開始年度

予 算

1544 千円

実施内容

市民交通安全の日（毎月 1 日、10 日及び 20 日）のほか、春、夏、秋及び年末の交通安全運動期間を中心として、啓発活動を行う。

【主な事業】

- ・新入学児童（小学校 1 年生）に対するランドセルカバー、黄色いワッペンの配布
- ・交通安全街頭活動（啓発物品配布、チラシの作成・配布等）
- ・交通安全ラッピング電車の運行
- ・交通安全DVDの貸出し
- ・民間企業と連携した交通安全の啓発活動
- ・市政出前講座等における交通安全教育の実施

URL

高
齢
者

こ
ど
も

中
高
生

シ
ー
ト
ベ
ル
ト
チャイルドシート

イ
ン
ベ
ン
ト
啓発運動

調
査
研
究

市
民
参
加

自
転
車
等

反
射
材

飲
酒
運
転
根
絶

そ
の
ほ
か

区交通安全思想の普及啓発の推進

直轄事業

実施目的

市民一人一人が交通安全の確保を自らの課題として捉えるよう意識の改革を促す。

実施場所

市内

対象者

市民一般

開始年度

予算

1543 千円

実施内容

市民交通安全の日（毎月1日、10日及び20日）のほか、春、夏、秋及び年末の交通安全運動期間を中心として、各区においてそれぞれ啓発活動を行う。

【主な事業】

- ・交通安全習字・標語コンクール
- ・各種交通安全街頭キャンペーン、交通安全教室開催
- ・館内放送や広報車による広報活動
- ・交通安全運動推進隊と連携した街頭指導

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

交通安全市民運動組織の育成強化

直轄事業

実施目的

交通安全市民運動組織（広島市交通安全運動推進隊〔交通ボランティア団体〕）への側面的支援を行う。

実施場所 市内

対象者 交通安全市民運動組織

開始年度

予算 1322 千円

実施内容

交通安全市民運動組織の育成強化等

- ・新規隊員に対する制服及び装備品の貸与
- ・HPや広報紙、YouTube等を活用した活動紹介や新隊員の募集
- ・交通安全運動推進大会の開催
- ・交通安全功労市長表彰

URL

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/148/6988.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

交通安全運動推進隊連絡協議会への補助金

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

補助事業 広島市交通安全運動推進隊連絡協議会への補助金

実施目的

交通安全市民運動組織（広島市交通安全運動推進隊〔交通ボランティア団体〕）への側面的支援を行う。

実施場所 市内

対象者 交通安全市民運動組織

開始年度

予算 397 千円

実施内容

広島市交通安全運動推進隊連絡協議会への補助金交付

- 交通安全運動推進隊員への表彰
- 交通安全運動推進隊員の研修
- 交通安全運動期間中等における啓発活動

URL

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/148/6988.html>

自転車マナー指導啓発事業

直轄事業

実施目的

学校と連携した中高生のルール遵守やマナー向上、反射器材の装着や乗車時におけるヘルメットの着用などを中心とした指導啓発に取り組み、自転車事故の防止を図る。

実施場所

市内

対象者

市民一般（※1）

開始年度

平成8年

予算

848 千円

実施内容

○内容

6月と2月の「自転車交通マナーの日」（各月1日）を中心に、自転車交通マナー遵守の街頭キャンペーンを実施する。

○方法

- ・街頭キャンペーンなどにおいて、反射器材の装着や乗車時のヘルメット着用、自転車利用安全五則、自転車保険の加入の呼びかけを行う。
- ・学校と連携を図り、通学中の学生に対し声掛けを行い、自転車マナーの周知啓発を行う。

（※1）特に中学生、高校生を対象。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

自転車運転免許証制度

直轄事業

実施目的

児童及び生徒に継続的な自転車交通ルールへの遵守を自覚させ、将来にわたる長期的な交通事故防止を図る。

実施場所 市内学校等（※1）

対象者 小・中学生、高校生

開始年度 平成25年

予算 1273 千円

実施内容

○小学生（市立小学校に通う小学3年生）

[内容] 小学校を対象に実施している自転車教室の開催に合わせ、児童に自転車運転免許証を交付する。

[方法] ・自転車教室終了後、理解度テストを実施する。

- ・理解できている児童に、自転車運転免許証を交付する。
- ・1年後に再度、理解度テストを実施し、自転車交通ルールの定着を図る。
- ・自転車運転免許証に再講習日を記入する。

○中学生・高校生（自転車で通学する1年生）

[内容] 県警等の協力を得て講義・実技指導を実施し、生徒に自転車通学許可証を交付する。

[方法] ・講義・実技指導終了後、理解度テストを実施する。

- ・理解できている生徒に、自転車通学許可証を交付し、以後、通学時に携帯させ、自転車交通ルールを自覚させる。
- ・講習会及び許可証交付後、教員にアンケート調査を実施し、効果等を検証する。
- ・1年後及び2年後に再度、理解度テストを実施し、自転車交通ルールの定着を図る。
- ・自転車通学許可証に再講習日を記入する。

（※1）広島市立小学校全校、広島市立中・高等学校・特別支援学校全校及び本制度への参加を希望する市内の国公私立中・高等学校・特別支援学校にて実施。

URL

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/1035962/1021165/1025674/1018761.html>（小学校）

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/1035962/1021165/1025674/1018773.html>（中・高）

「広島チャレンジサイクル」推進事業

直轄事業

実施目的

自転車利用者のルール・マナーを向上させるために必要な取組を「見て実感」「聞いて実感」「やって実感」のテーマに分け、広島県、県警、商店街組合、関係企業などと連携して実施し、市民一人一人にその重要性を浸透させる。

実施場所

市内

対象者

市民一般

開始年度

平成29年

予算

2309 千円

実施内容

『広島チャレンジサイクルキャンペーン』

【第1回】

（実施日）令和8年5月6日

（場 所）LECT

【第2回】

（実施日）令和8年10月17日

（場 所）イオンモール広島祇園

○見て実感

- ・「放置自転車ゼロの日」を含む放置自転車等の撤去強化
- ・「自転車保険加入促進」・「自転車点検促進」の啓発
- ・スクエアード・ストレートの実施

○聞いて実感

- ・大規模店舗における自転車イベントの開催
- ・子ども安全免許証の発行

○やって実感

- ・自転車ながらスマホのVR体験
- ・自転車の安全な乗り方等を学べるローラー台実演・体験

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
ベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

飲酒運転根絶キャンペーン事業

直轄事業

実施目的

「飲酒運転を絶対にしない、させない」という市民の規範意識の確立を図るとともに、アルコール依存症を含む不適切な飲酒に関して相談支援が受けられる窓口や自助グループの周知を推進する。

実施場所

市内

対象者

市民一般

開始年度

予算

248 千円

実施内容

- ア 飲酒運転根絶に係るイベント等での啓発活動
（「HIROSHIMA飲酒運転ゼロプロジェクト」と連携した取組）
- イ スポーツセンターや各種イベントでの啓発物品配布
- ウ 飲酒体験ゴーグルを活用した参加・体験型交通安全教育の実施
- エ 市政出前講座等における交通安全教育の実施

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他